



## 胡桃沢

1987年8月1日

L4

河内川橋のたもとに車を置き、林道を歩いて胡桃沢出合へ向かう。7:35胡桃沢橋から下の沢に降りて、遡行を開始する。

まずは歩きづらいゴーロである。すぐに二俣。右の本流の方が5:1くらいで水量が多い。その後、ナメが断続して出てくるが、さして変化のない沢である。コンテの混みぐあいからいっても、そう滝は期待できないだろう。所々に木材の切り出しの時に使用したワイヤーが放置されていた。

源頭部まで2時間半の遡行。予想したように大きな滝はなく、1mほどの滝が3つあっただけであった。

源頭部の二俣から、右にルートをとる。上部はスラブである。途中から右手の支尾根に取り付くが、勾配がきつく、スラブとヤブが交互するいやらしいやせ尾根である。菱沼さんにザイルで確保してもらって、危険地帯を突破する。

急な傾面を登りきると、二俣温泉から大白森山への登山道へ飛び出す。小雨の降り続くうっとうしい一日であった。一路、二俣温泉に向け、下山

開始。2時間程かけて、車をデポしておいた河内川橋に帰り着く。

(記)

[タイム] 河内川橋(7:15)→胡桃沢橋(7:35)→遡行終了(10:10)→登山道(11:25)  
→二俣温泉(12:10)→河内川橋(13:25)

## 穴沢右俣，中俣，左俣

1987年8月22日

夏合宿でやり残した穴沢に入る。穴沢橋のたもとにピパークして、早朝より遡